



熱戦が繰り広げられたカブトムシの相撲大会

カブトムシ頑張れ

相撲大会、児童楽しむ

高 原

「かぶと虫相撲大会」はこ
 のほど、高原町のNPO法人
 ・たかはるハートム(谷山天
 一代表、15人)の事務所であ
 った。町内の児童約30人が参
 加。カブトムシを使った相撲
 を楽しんだ。大会は、口蹄疫
 の影響で町内のイベント中止
 が相次いだことから、子ども
 たちに楽しんでもらうことを
 目的に企画した。

相撲はトーナメント方式で
 対戦。自宅から持参したり、
 主催者から借りたりしたカブ
 トムシを直径30センチの土俵に乗

せ、行司の掛け声と同時に割
 りばしでカブトムシをつつく
 などした。カブトムシが動か
 ずに仕切り直しとなる対戦
 も。児童たちは「頑張れ」な
 どと声援を送っていた。この
 ほか、カブトムシが高さ約40
 センチの木の枝を登る早さを競う
 大会も行った。

高原小2年の今西亮太君
 (8)は「カブトムシが強かつ

たので楽しかった。また、や
 りたい」と話していた。
 谷山代表は「今後も毎年カ
 ブトムシの相撲大会を開き、
 少しでも町が活性化すればう
 れしい」と期待していた。

きりしま